

別府市教育委員会

別府市教育委員会が求める教職員！

児童生徒のために何ができるかを考え、行動する教職員

【具体的な姿】

- 1 授業力の向上に向け、たゆまぬ研鑽を積む教師
- 2 児童生徒の悩みや困りに寄り添い、よりよい成長に向け、ともに歩み続ける教職員
- 3 学校組織の一員としての自覚を持ち、協働することのできる教職員



別府市教育委員会の特色ある取組

『ふるさと別府に学び、未来を創る人づくりの推進』を教育目標に掲げ、ふるさと別府に愛着と誇りを持ち、多様な人々と協働しながら問題を主体的によりよく解決し、自立して生きていく人づくりを推進しています。学校・家庭・地域が連携しながら次のような取組を進めています。

- 地域とともにある学校づくりの推進(全校コミュニティ・スクール指定、学校・家庭・地域の連携・協働体制の確立)
- 中学校区ごとの幼小中連携教育の充実(幼稚園・小中学校の滑らかな接続と校種間連携の強化)
- 郷土愛を育む「別府学」の取組(先人が遺してくれた別府の歴史・文化を伝える事業の推進)
- グローバル人材育成の推進(APU留学生による授業支援、APU体験留学・体験学習等)



別府市のオススメ情報

別府市は、西に鶴見山、東に別府湾を臨む風光明媚な人口約12万人の国際観光温泉文化都市です。**「地域ブランド調査2019 市区町村魅力度ランキング」において、全国18位、大分県1位**に選ばれました。この結果は、認知度・魅力度・居留意欲度等の観点から総合的に評価されたものです。別府市は、居住施設や医療機関、教育・保育施設、店舗等も充実しており、県都大分市にも近いため、単身・家族を問わず暮らしやすく、永住にも適しています。

市内には小学校が14校、中学校が8校あります。市内のどこに住んでいても20分もあれば通勤できます。また、教科研究や生徒指導などの情報や取組を部会や中学校ブロックで共有し、**学校の枠を越えて互いに高め合おうとする風土**があります。そして、何と云っても、「おんせん県おおいた」の中心都市別府市には、**温泉利用の公衆浴場施設数が136か所**もあるのです。日々の教育活動に励んだ心身を癒すために入浴するのが別府市の「心の癒しスタンダード」。車の中には常に、①着替え②タオル③シェーバー④洗顔クリーム⑤小銭の「いつでも入浴5点セット」。温泉で癒されれば、きっと明日への活力も漲るものと思います。**2019ラグビーワールドカップでは、公認キャンプ地として多くの選手や観光客が訪れ、別府の魅力が世界中に発信されました。**是非、別府市においでください。